

超音波観察装置初心者セミナー

私たち柔道整復師にとって、新たな武器になると関心のたかい、超音波観察装置についての初心者講習会が開催されたので、受講いたしました。

当組合の指定業者である（株）エス・エス・ピー社は超音波観察装置の普及にちからを入れており、未導入者、初心者には使用説明会、更なる技術向上のために超音波学会を後援することで、幅広いユーザーにサポートしている。今回、8月8日（日）に東別院会館で、朝10時から夕4時までたっぷり1日かけて行われた講習会のようすをご報告いたします。

午前 基礎知識講義

魚群探知機で代表されるソナーは、発振器より射出した超音波が目的とする物体にあたり反射して帰ってきた時間を計ることで、その物体までの距離と方向を測定することができる。この原理を人体に応用したのが超音波観察装置で、生体内の組織間でおきる反射率の差により、目に見えない体内のようすを画像化することが可能となった。

超音波エコーの特徴

利点

- 1、生体組織へ無侵襲である。
- 2、被爆の恐れがなく反復検査が可能。
- 3、生体をリアルタイムに動画観察ができる。
- 4、装置は他の観察装置に比べ安価で小型である。

短所

- 1、画像が不鮮明なため理解しにくい。
- 2、技術的な習得に時間を要する。
- 3、検査部位に限度がある。
- 4、得られた画像の解読を第三者がするには困難なことが多い。

午後 実技

午後は未導入者と導入間もないひとに分け、未導入者には先生が機械を使用しながら、できること、できないこと、さらには有効な活用法を、実際の観察動作をとおして説明がなされた。すでに導入されているひとには、小グループに分かれ効果的な使用方法について機械操作をしながら説明されました。

未導入者のセミナーでは柔整の学生が多数勉強にきており、質問の時間となると、解剖学的興味を超音波観察装置で描出される画像と対比させながら熱心に学習していた。

学生の話によると、授業で観察装置が使用されており、解剖学や柔道整復学の理解の助けになっている。また、解剖学の知識は観察装置使用を前提に学習され、実践的な観察装置テクニックも授業で伝授されているとのこと。

今後、免許取得者が大量に生まれるが、超音波観察装置の使い方をマスターした、あるいは、使用にアレルギーのない柔整師が大量に世に送り出されることになりそうだ。現時点で現在活躍している柔整師のあいだでは、この技術が有効か？という空気が実際にはあるが、現実には有効であるとされたときを思うと、二重の意味で脅威であると考えさせられた。

（むとう）